



園だより 7月号

新宿区立西戸山幼稚園 令和6年6月28日発行

夏の畑で

園長 佐藤 淳穂

畑の野菜がぐんぐん育っています。すみれ組が最初に収穫したキュウリは薄くスライスして食べました。さくら組のナスとピーマンは炒め物にして食べました。採りたての野菜は色鮮やかでみずみずしく、ほんのり甘みを感じられて、それはそれはおいしいです。はじめて食べられたという子どももいました。収穫したてのキュウリの表面やナスのへたはチクチクとしていることも感じていました。

とにかく今年は大豊作です。現時点での採れ高を一覧にしてみると…

5歳すみれ組	キュウリ2株	12本
4歳さくら組	ナス2株	32個
	ピーマン2株	46個
	ミニトマト2株	32個（青いものは数えきれない）
3歳いちご組	ミニトマト4株	40個くらい（採ったり池に落としたりして正確な数は不明） 青いものは数えきれない

畑の土は4月に4・5歳の子ども達でつくりました。冬野菜が終わった畑の土を園庭に広げて、腐葉土・肥料・リサイクル材をシャベルでザクザクと混ぜるのです。土の中からは名前のわからない虫が次々に見つかって大騒ぎになりました。虫たちの糞や死骸が栄養たっぷりの豊かな土にしてくれるので、まさに生命の循環を体験しています。

収穫した時のうれしさは格別です。土づくり、毎日の水やり、花が咲いたときの感動、強風や虫対策の心配…スーパーに並んだ品物からは、たった一つの実になるまでにこんなにも長い時間がかかることは知り得ないのです。

収穫に恵まれたので、一つ一つの形の違いや大きさの比較を

することも楽しんでいます。子どもたちはいくつあるのか数えたくなり、どちらが長いか知りたくなります。曲がったものは定規で測ることが難しく、年長組はメジャーという道具にも出会いました。幼児期には「知りたい！」を逃さずに、実体験



として数や量、長さや大きさ、重さなどの感覚をはぐくむことが大切です。

年長組の畑ではズッキーニ、オクラも出番を待っています。ジャガイモ堀りもあります。翌週のカレーパーティはきっとおいしい夏野菜カレーになることでしょう。

